

令和6年度

運営方針・事業計画
予算書

社会福祉法人 真光会
三和荘・出水・三和苑

令和6年度 社会福祉法人真光会 運営方針

I はじめに一真光会の目標

(1) 真光会の使命（ミッション）

創設者が「教育」を通して社会に働きかけてきた精神を高齢者福祉に活かし、高齢者の人生と高齢者を取り巻く人的・物的な環境とをよりよい状態にしていくことによって、

- ① 高齢者の生きる力を支え（自立支援）
- ② 高齢者の生きる誇りを守り（個性や尊厳の保持）
- ③ 高齢者と生きる喜びを共にし（人間信頼）、

もって地域社会の福祉に貢献する。

(2) 真光会の基本理念 ～「三つの和」～

- ① 利用者との和（サービスの品質の確保）
- ② 地域との和（地域との連携）
- ③ 職員の和（職員の協働）

(3) サービスの基本方針

- ① お年寄りの一人ひとりを大切にします。（基本姿勢）
- ② お年寄りに心優しく接します。（ケアのあり方）
- ③ お年寄りに充実した楽しい生活を提供します。（サービスの目標・内容）

II 真光会経営方針

私どもは上記本法人の目標を踏まえながら、次の各項の方針のもとに地域福祉事業を展開しております。

1. 「公共性」「非営利性」「安定性（継続性）」といわれる社会福祉法人の責務を全うする。
2. ご利用者の「安全である」「知らされる」「選択できる」「意見が反映される」という権利を大切に守り、サービス面では「自立支援」「尊厳重視」「個別対応」という介護福祉の目標を実現する。
3. 科学的な介護を実践し、認知症への理解と適切な対応を行う。
4. 医療・介護・予防・住まい・生活支援の一体的有機的連携による地域包括ケアの実現に努める。
5. 地域との連携や地域貢献を進め、制度の谷間に苦しむ人の支援など、地域公益的事業の展開にも努力する。

III 令和6年度の重点目標

今年度は本体事業の開設から30周年という節目の年です。そのような節目の年を迎

えるにあたり、これまで多くの高齢者に提供し続けてきた事業を振り返りつつ、改めて真光会の社会的存在意義を明らかにするためにパーパスブランディングを行いたいと思っています。また、近年、高齢者福祉を取り巻く環境は大きく変わり、ここ数年は人材確保、物価高騰など多くの課題が山積しており、日に日に取り巻く環境の厳しさは増えています。このような状況下でも、限られた資源等の中で、私達はご利用者の安心・満足した生活を最大化できるように令和6年度も取り組んで参ります。今年度は、報酬改定の年度でもあります。介護報酬の改定は、国の方針が分かるものですので、その意図・趣旨を的確に分析し、それに対応していきたいと思えます。

その上で、今年度も従来からの自立支援や科学的介護に力を入れつつ、ご利用者に対するサービスやケアの質を更に向上させたいと思えます。また、職員にとってより働きやすい環境になるように、業務の見直しやICTの活用などによって生産性向上にも力を入れると共に、休暇の拡充も図っていきたくと思えます。

ここ数年高齢者福祉にも大きな影響を与え続けた新型コロナウイルス感染症は、昨年感染症法上の分類は5類へと見直されましたが、罹患された後にADL等が大きく低下する高齢者も多数いらっしゃるという状況ですので、まだまだ危険なウイルスであることを意識しつつ、以前のような日常への完全な復帰については慎重に進めて参りたいと思えます。

その他、策定した非常災害対策や業務継続計画（BCP）が絵に描いた餅とならないように適宜修正等をしながら、その時々業務の実態に沿うように改善し、常に使える状態であり続けるようにします。また、施設の老朽化も進んできましたので、中長期的な計画のもと、ナースコール設備や自家発電設備等の老朽化した設備改修も適宜行います。

以上を踏まえ、令和6年度の法人の重点目標は以下の通りです。これら重点目標を達成できるように、全職員が一丸となって取り組んでまいります。

具体的重点目標

1. ご利用者満足度の向上

- (1) 接遇・サービスの質の向上
- (2) ご利用者に寄り添った伴走型介護の提供によるQOLの向上
- (3) LIFEの活用等による科学的な根拠に基づいたケアの実践
- (4) 抱え上げない介護（ノーリフティングケア）の実践による重度化防止
- (5) 利用率の向上

2. 職員満足度の向上

- (1) 職員の採用・定着・育成に向けた取り組みの実践
- (2) 「やりがい」を感じる環境づくり
- (3) 外国人技能実習生の定着

3. 働き方改革の推進

- (1) ワークライフバランスの向上
- (2) 業務の効率化・生産性向上の取り組み
- (3) ICT等の活用

4. 地域貢献

- (1) 地域との交流、情報交換
- (2) 非常災害時における連携体制の強化

5. 非常災害・感染症等への対策の強化

- (1) 非常災害（感染症・自然災害）時における業務継続計画（BCP）の更新
- (2) スタンダード・プリコーション（標準予防策）の徹底等による感染症対策

事業所別事業計画

【特別養護老人ホーム三和荘・三和荘短期入所生活介護事業所】

利用者満足度の向上（サービスの質の向上及び維持） 目標利用率等 95% SS:30%
科学的裏付けに基づいた「根拠のある介護」である科学的介護を推進しています。L I F E（科学的介護情報システム）へのデータ提出とフィードバックの活用により、P D C Aサイクルの推進とケアの質の向上を図ります。更なる活用のためにL I F E等を深く学び、P D C Aサイクルのプロセスの構築強化を図ります。今後積み上げられていくデータからのフィードバックを多職種で共有・検討してより良いケアを提供していきます。

職員満足度の向上（「やりがい」を意識した取り組み 職員育成等）
人材育成・人材定着のためには、OJTの必要性和目標を職場全体で共有することが必要です。そのため、教育担当者だけではなく職場全体のサポート体制を強化します。また、各階層に応じた定期的な勉強会やグループワークを行うことで、スキルアップを図るとともに職員同士がよい刺激を与えあいモチベーションアップにつながるような環境を整えます。

働き方改革の推進（生産性向上 ICT等の活用等）
現在ノーリフティングケアの取組により、職員の腰痛軽減が図れており今後も継続していきます。次は導入済のインカムや介護記録ソフトを活用して日常業務の軽減を図るとともに、情報の共有・データの活用・スタッフ間のコミュニケーションにおいて効率化・正確化につなげます。ICT化とともに一つ一つの業務の見直しを行いご利用者とかかわる時間の確保に繋がります。まずは、ご利用者の清潔保持を念頭に、排泄介助の見直しを行います。

月	行事等予定	月	行事等予定
4月	新緑ドライブ	10月	運動会 地域の運動会見学
5月	鯉のぼり見学	11月	紅葉ドライブ
6月	父母の会 紫陽花ドライブ	12月	餅つき忘年会
7月	そうめん流し	1月	初詣
8月	スイカ割り・かき氷	2月	節分(豆まき) 梅見ドライブ
9月	敬老会	3月	桜花見ドライブ 物故者供養

月1回：映写会・喫茶さんわ 毎週水曜日：カラオケ
 随時：小グループ活動（製作・散歩・外出行事等）

【三和荘通所介護事業所】

利用者満足度の向上（サービスの質の向上及び維持） 目標利用率等 80%
利用率は80%を目標とします。昨年度は新規利用開始のご利用者はあるものの入院や入所による利用停止となる場合が多くありました。在宅生活が継続できるように認知症予防を目的とした集団または個別での脳活性化に繋がる活動の実施や、ADLの維持向上を目的とした集団体操の機会を増やしていきます。「参加を希望しない」ご利用者にも、日頃のコミュニケーションを大切にして信頼関係を築くとともに、参加しやすい雰囲気作りでかわりを持ち参加できるように取り組みます。参加することが難しいご利用者には、ご本人の意見を取り入れ、個別の運動メニューの開発や見直しを行います。

職員満足度の向上（「やりがい」を意識した取り組み 職員育成等）

職員の中には、業務の一部に苦手意識があり、精神的負担となっている場合があります。職員全員が同じ業務をローテーションを組み担当していくという「平等な業務」だけではなく、入浴専任や送迎車運転等の「できる分野」を中心に分担することも検討します。その際には、仕事の難易・量・時間について職員全体で話し合い、事業所運営に支障がないか確認しながら、働きやすい職場環境づくりに努めます。また、苦手分野業務については、OJTにてレベルアップに取り組むとともに、成功体験や達成感を得られるよう育成方法を見直します。

働き方改革の推進（生産性向上 ICT等の活用等）

タブレットの活用が進み、介護記録の出し入れが簡単化され、各種記録やモニタリングに活用しやすくなっています。現在、1台の端末のみのため、記録入力に順番待ちが生じたり、苦手意識をもつ職員や手書きと比べ時間がかかってしまう職員がいたり差がでています。まずは、記録に関するマニュアルの見直しや入力時間の確保やスケジュール管理を行うことで改善を図ります。なお、端末の増設等も検討していきます。

月	行事等予定	月	行事等予定
4月		10月	運動会
5月	父母の会	11月	みかん山ドライブ 業務見直し
6月	あじさい見学	12月	餅つき クリスマス忘年会
7月	七夕飾り作り 業務見直し	1月	初詣参拝
8月	夏祭り行事	2月	
9月	敬老会	3月	桜花見ドライブ

【グループホーム三和の邑】

利用者満足度の向上（サービスの質の向上及び維持） 目標利用率等 95%

家庭的な雰囲気の中で日常のサポートはもちろん娯楽的要素を取り入れた活動をさらに充実させます。認知症ご利用者の、BPSD（行動・心理症状）に対するケアの強化を図ります。観察・評価、背景要因の分析、ケア計画、実行のPDCAサイクルを繰り返しながら症状改善に取り組みます。必要な情報取得に関しては、ご家族の意見や協力も求めケア向上に取り組みます。

職員満足度の向上（「やりがい」を意識した取り組み 職員育成等）

チームとしての協調性は確立できています。新たな人員配置によるチーム構成の強化を図ります。サービスの質の向上において、各職員の役割を明確にするとともに情報共有と闊達な意見交換のできる職場環境を目指します。

働き方改革の推進（生産性向上 ICT等の活用等）

介護記録ソフトの導入により効率化が図れています。有効な活用方法を見出して更に業務改善に取り組めます。効率化により生み出される人員や時間をもって、ご利用者との関係づくり強化や生活の質の向上に努めます。

月	行事等予定	月	行事等予定
4月	花見ドライブ 健康診断	10月	三和の邑運動会 避難訓練
5月	父母の会・家族会 運営推進会議	11月	秋の味覚会
6月	紫陽花ドライブ 身体拘束委員会	12月	クリスマス忘年会・家族会 身体拘束委員会
7月	七夕 運営推進会議（避難訓練）	1月	初詣、運営推進会議 避難訓練
8月	三和の邑夏祭り	2月	節分 梅見ドライブ
9月	敬老会 運営推進会議、身体拘束委員会	3月	運営推進会議 身体拘束委員会

【三和荘訪問介護事業所】

利用者満足度の向上（サービスの質の向上及び維持） 目標利用件数 180件（月）

ご利用者の日常生活自立度の低下や認知機能低下、勘違いや難聴による意思疎通の困難さ等、ご利用者の状態に応じた適切なサービスをケアプランの範囲内で提供するために、ご利用者とのコミュニケーションを大切にして信頼関係を築いていきます。ご利用者一人ひとりと向き合えるサービス提供を心がけます。また、状態の変化に応じて必要性が高い支援等については、サービス担当者会議等を通じて情報を提供し今後のサービスの質の向上に繋がります。

職員満足度の向上（「やりがい」を意識した取り組み 職員育成等）

訪問介護の現場では、セクハラやモラハラ、パワハラが起こることがあります。ハラスメントの実態や対処法について会議等を通じて知識を深め対応していきます。ご利用者には、認知症により感情コントロールがうまく行えない状態や体調不良による苛立ちが原因であったりする場合があります。サービス提供責任者等が相談窓口となり対応を進めていきます。また、職員もご利用者のニーズや心身状態を把握したうえで、接遇の向上を図りご利用者に寄り添ったサービス提供ができるように努めます。

働き方改革の推進（生産性向上 ICT等の活用等）

職員の高齢化がすすんでいます。働き続けられるための健康管理・メンタルヘルス対策の強化を図ります。また、会議において安全衛生教育・事故防止対策等を取り扱い高齢化に伴う安全衛生の取り組みとします。勤務体制については、十分な休息がとれるよう整備するとともに年休の取得にも配慮します。

月	行事等予定	月	行事等予定
4月	事業所年間計画・取り組み 介護保険法改正について	10月	認知症・ユマニチュードについて
5月	防災・救急法について 健康診断・安全衛生教育	11月	調理実習
6月	食中毒 感染症対策について	12月	リスクマネジメントについて
7月	調理実習	1月	ハラスメント研修 メンタルヘルス
8月	虐待防止について	2月	取り組み課題のまとめ
9月	コミュニケーションと接遇について	3月	今年度の反省 次年度の取り組み検討

【三和荘居宅介護支援事業所】

利用者満足度の向上（サービスの質の向上及び維持） 目標利用率等 105件
<p>多様化・複雑化するケース(障害者、精神疾患、生活困窮者、難病疾患など)に適切な対応ができるように、疾患別や制度に関する研修会・勉強会・事例検討会に参加し、知識等を深めていきます。</p> <p>適切なケアマネジメント手法(認知症・心疾患・脳血管疾患・誤嚥性肺炎の予防・大腿部頸部骨折)を活用できるよう、勉強会を実施します。</p> <p>ACPを学び、ご利用者のケアプランに反映していきます。</p>

職員満足度の向上（「やりがい」を意識した取り組み 職員育成等）
<p>それぞれの専門技術を高めるため、各種研修会や勉強会に参加し、事業所内のレベルアップに努めます。</p> <p>関係作りや専門知識を身に付けるため、積極的に多職種と連携し、関係作りに努めます。</p>

働き方改革の推進（生産性向上 ICT等の活用等）
<p>担当のケアマネジャーが不在時でも、適切なサービス調整ができるように、毎週、居宅会議を開催し、随時情報共有を行いながら、ご利用者の状況を把握します。</p> <p>各種マニュアル(業務マニュアル・接遇・苦情対応・高齢者虐待等)を見直し業務に支障なく、統一した仕事ができるようにします。</p>

月	行事等予定	月	行事等予定
4月	年間計画 BCP計画	10月	高齢者虐待対応 BCP計画
5月	合同勉強会	11月	合同勉強会
6月	ACP勉強会	12月	適切なケアマネジメント手法
7月	緩和ケア	1月	権利擁護
8月	合同勉強会 接遇マナー	2月	合同勉強会 医療との連携
9月	ハラスメント予防	3月	認知症勉強会

【熊本市西1地域包括支援センター 高齢者支援センターささえりあ三和】

利用者満足度の向上 「あらゆる相談に適切に対処します」
<p>相談件数が右肩上がりの中で、課題が複数ある相談内容に対応するためには、相談のニーズを的確に捉える必要があり、そのためにはスキルが求められます。言語化されていないニーズをくみ取るために対人援助技術や知識を身に付けなければなりません。事業所内での検討、研修への参加、自己啓発に取り組む適切な支援を行えるようスキルアップに努めます。また、適切な機関へ繋ぐため職員間の情報共有や各機関との連携に努めています。</p>

職員満足度の向上「ケアマネジメントの質を高めます」
<p>マネジメント力を高めることで不要な作業を減らし、やりがいの向上を図ります。業務への理解や対応力が高めることで効率化や適切な支援へ繋がります。各職員は年一回勉強会にケアプランを事例として提出し、各専門職からケアプランチェックを受けることでマネジメント力の向上を図ります。これら個々のスキルアップや事業所内でのサポートや連携にもこれまで以上に力を注ぎ更なるチーム力向上を目指します。</p>

働き方改革の推進（生産性向上 ICT等の活用等） 「生産性向上で残業ゼロ！」

生産性向上のため能力開発シートを活用し、全職員が標準的な対応が出来るよう取り組みます。イレギュラーな対応には複数名・多職種で対応し、情報共有を行い対応時間の削減に努めます。ICTの活用について、PC入力と手書き作業の再確認、PCやメールの活用、リモート対応を強化し3M排除に努めます。

月	行事等予定	月	行事等予定
4月	年間計画 担当決め 鯉のぼり設置	10月	
5月	三和便り発行 鯉のぼり撤去	11月	三和便り発行 城山ウォーキング
6月	地域運営協議会・協議体	12月	地域運営協議会・協議体
7月		1月	
8月	三和便り発行	2月	三和便り発行 味生祭
9月	地域運営協議会・協議体	3月	地域運営協議会・協議体

- ・ 自立支援型地域ケア会議
- ・ 課題解決型地域ケア会議
- ・ 認知症サポーター養成講座

【三和荘ケアハウス】

利用者満足度の向上（サービスの質の向上及び維持） 目標利用率等 92%

コロナ禍により外出する機会や行事が減ったことで、心身面で悪影響を受けたご利用者もいらっしゃいました。そこで、外出する機会や、行事等を増やし、またご利用者同士の交流を深められるような空間づくりを提供していき、心の安定を図ります。

職員満足度の向上（「やりがい」を意識した取り組み 職員育成等）

職員が長期で休まざるを得ないため他の職員の負担が増えるケースが多くなっています。そこで、まずは仕事を休まないような個人の体力作りと、業務中の危険が伴うような作業の見直しを行います。そして職員の欠員が出て無理なく働けるような業務改善を行います。

働き方改革の推進（生産性向上 ICT等の活用等）

パソコンを使った業務作業での待ち時間を解消するために業務作業のスケジュールを見直します。また、他事業所のパソコン活用やタブレットを活用して生産性向上を図り、ご利用者との関わり強化に努めます。

月	行事等予定	月	行事等予定
4月	映写会・岬鯨	10月	ドライブツアー・映写会
5月	健康診断・菖蒲湯・母の日の会 映写会・ドライブツアー	11月	秋祭り・防災訓練・映写会
6月	父の日の会・映写会	12月	忘年会・柚子湯・餅つき
7月	七夕・映写会	1月	初詣（ドライブツアー）・映写会
8月	映写会・納涼会	2月	節分豆まき・映写会・岬鯨
9月	敬老会・映写会	3月	避難訓練・映写会・ドライブツアー

【グループホーム出水】

利用者満足度の向上（サービスの質の向上及び維持） 目標利用率等 95%

コロナ禍のため、ご家族の面会を制限したり、季節の外出行事・日常の散歩等もひかえた生活が続きました。今年度は、少しずつ外出の機会を生活に盛り込むことはもちろん地域密着型サービスとして社会参加のあり方を見直します。ご利用者の意向を尊重しつつ認知症があっても地域活動に参加できる機会を確保していきます。

職員満足度の向上（「やりがい」を意識した取り組み 職員育成等）

職員の認知症対応力や業務遂行能力の向上のため、OJTや各職員による勉強会を継続して行います。また、認知症実践者研修等の外部研修参加や資格取得チャレンジのできる職場環境を整えます。職員個々のスキル向上により職員間の連携強化を図ります。

働き方改革の推進（生産性向上 ICT等の活用等）

職員の生活時間や睡眠時間の確保のため、勤務間インターバル制度が重要視されてきています。現在、基本的に残業のない職場環境は整ってきています。今後は、さらに勤務間インターバルを意識した勤務シフト編成（基準）を行い、職員の心身の負担軽減を図ります。また、年休取得率アップにも取り組み、職員の十分な休日休息を確保します。これらを実現できる適切な人員配置数にむけて、多様な人材が活躍できる職場環境（職場におけるダイバーシティ）づくりを推進していきます。身近な意識改革として、服装や髪形等の接遇マニュアルの見直しも図ります。

月	行事等予定	月	行事等予定
4月	桜見見学（国府公園） 健康診断	10月	白山校区民大運動会見学（白山小）
5月	母の日のお祝い 家族会	11月	三和荘秋祭り見学
6月	紫陽花ドライブ	12月	餅つき・ぜんざい会 家族会
7月	七夕飾り おやつ作り	1月	初詣
8月	スイカ割り	2月	梅見見学
9月	敬老のお祝い 家族会	3月	桜見見学

【デイサービスセンター出水】

利用者満足度の向上（サービスの質の向上及び維持） 目標利用率90%
以前よりも趣味や関心を基盤にした小規模プログラムの実施に力を注いでおり、アクティビティを強化できたと実感していますが、活動の効果を具体的な数値で示すためのデータ収集は不十分です。そこで、ご利用者の活動への参加度合いや心理的、身体的な変化を追跡し数値化することを目指します。曜日毎の利用登録数 100%を目指し、利用率 90%を目標とします。

職員満足度の向上（「やりがい」を意識した取り組み 職員育成等）
職員の「やりがい」を感じるポイントを把握するために、定期的なアンケートや面談を行います。この結果や意見を参考に、業務改善やサービスへの反映を行い満足度の向上を図ります。

働き方改革の推進（生産性向上 ICT等の活用等）
効果的な情報共有ツールの導入と職員向けの研修を実施することで、情報の流通とコミュニケーションの強化を図ります。また、業務プロセスを見直し、デジタル化を進めることにより、時間ロスを削減し、より効率的な業務運営を目指します。さらに、定期的にICTの活用状況をレビューし、改善点を把握することで、継続的な改善を進めることが重要だと考えています。

月	行事等予定	月	行事等予定
4月	桜花見ドライブ	10月	運動会
5月	鯉のぼり見学、母の日	11月	銀杏ドライブ
6月	父の日	12月	ゆず湯 クリスマス・忘年会
7月	七夕飾り	1月	初詣 七草粥
8月	夏祭り	2月	節分
9月	敬老会	3月	ひなまつり

【三和苑デイサービスセンター】

利用者満足度の向上（サービスの質の向上及び維持） 目標利用率等90%
転倒予防に効果的な脚力維持・強化のため、リハビリメニューの見直しを行うとともに、午前・午後のリハビリの実施を計画します。また、ご利用者の個別ニーズやご利用者の視点に応じたケアの実践を行います。ご利用者が自己発揮できる場所に繋がるよう、また新たにやりたい事に取り組むことで、豊かな自己の能力や個性を実現できるように努めます。

職員満足度の向上（「やりがい」を意識した取り組み 職員育成等）
役割の細分化、明確化を図ります。また、個々の考えを実現します。職員が負担に感じていること把握して、早期に解消・軽減し、お互いの弱点を補完し、個人では達成が難しい業務を皆で力を合わせて成し遂げることで、職員相互の良い関係に繋がります。職員が活き活きと満足して働ける環境を整備し、職員個人のさらなる能力、意欲の向上が図れる体制を構築していきます。

働き方改革の推進（生産性向上 ICT等の活用等）

介護記録の活用をすすめて、ペーパーレス化を図ります。また、勤務体制の多様化に合わせた情報共有の強化にも努めます。同時に職員の意見を互いに尊重し合い、新たな事・何事にも挑戦する気持ちで取り組もうとする職場環境を自分たちで構築します。まずは、現在の業務の見直し・年休取得・働き方を皆で考えていきます。

月	行事等予定	月	行事等予定
4月	桜花見ドライブ	10月	運動会・十五夜行事
5月	端午の節句・母の日の集い	11月	みかん山ドライブ・勉強会
6月	紫陽花見学・父の日の集い	12月	クリスマス会・忘年会
7月	七夕行事・勉強会	1月	初詣、正月行事
8月	夏祭り（花火大会）	2月	節分行事
9月	敬老会	3月	雛祭り

【三和荘事務部】

利用者満足度の向上（サービスの質の向上及び維持）

法人・各事業所の基本情報及び定期的な最新情報を正確に掲載します。ページデザインやレイアウトも一新し、事業所の魅力や特徴、取り組みの内容を分かりやすく発信します。また、質の高いホームページの運用を目指しアクセスする対象者層ごとに必要とされる情報を検討していきます。さらに、問い合わせの窓口としての機能も活用をすすめ外部とのコミュニケーションをより円滑化します。また、ホームページとSNSを連携させて、流入動線を確保します。

職員満足度の向上（「やりがい」を意識した取り組み 職員育成等）

人材確保のため、採用と定着について同時強化の取り組みを進めます。法人・サービス事業所の特徴を分かりやすくPRし、求職者本人との関係づくりだけでなく、新卒の場合は学校側の窓口と、中途採用の場合はハローワーク等とのよりよい関係づくりに取り組んでいきます。また、新しい採用管理ツールも活用し、先輩社員インタビューやインターン情報などを発信し、エントリー数の増加を目指します。採用後の定着に関しては、業務に関する研修・OJTの強化だけでなく、職場内のコミュニケーションを含め働きやすい職場環境を整えていきます。同年代の職員との交流を持てる場を作るなど、貴重な人材として受け入れるきめ細かい配慮を行います。

働き方改革の推進（生産性向上 ICT等の活用等）

事務部では、紙の使用量が非常に多くなっています。そこで、ペーパーレス化（デジタル化）を推進することで業務効率化を図り、SDGsの貢献を行います。まずは、給与関係事務においては、新給与ソフトにおいて業務プロセスを見直し効率化を図ります。また、明細配信によるペーパーレスを行います。その他、様々な書類の管理保管についても、デジタル化を進め、必要書類の格納や探す手間を減らし、業務効率化を図り、生産性の向上を目指します。

月	行事等予定	月	行事等予定
4月	各退職共済の基準給与算定基礎届・掛金納付対象職員届提出	10月	就職セミナー出展（予定）
5月	監事監査・理事会 福祉医療機構退職共済掛金納付	11月	内部監査
6月	評議員会 現況報告提出 財産登記 ホームページリニューアル	12月	年末調整 賞与支払届提出
7月	賞与支払届・算定基礎届提出 高卒求人公開 労働保険年度更新	1月	次年度事業計画及び予算調整
8月		2月	育成面談・人事考課
9月	理事会 高卒採用試験	3月	理事会 賞与支払届提出 36協定届出提出

【職員研修】

法人内研修 毎月第4木曜日 18:00~19:30 集合研修又はオンライン研修			
月	予定	月	予定
4月	防災教育・接遇マナー向上 取組内容発表	10月	身体拘束等の適正化について 感染症及び災害における業務継続計 画（BCP）
5月	救急法 感染症及び食中毒の予防について	11月	感染症（インフルエンザ・ノロウイ ルス）の予防について
6月	事故発生防止 決算報告	12月	権利擁護 高齢者虐待防止
7月	身体拘束等の適正化について 感染症及び災害時における業務継続 計画（BCP）	1月	取組発表（前半の部）・講評
8月	権利擁護 高齢者虐待防止	2月	取組発表（後半の部）・講評・総評
9月	事故発生防止	3月	事業計画・予算

目標	具体的目標	項目	拠点	具体的行動計画												備考			
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
災害対策	① 非常災害教育(研修)	①防災教育	全体	○															
		②感染症及び食中毒の予防及びまん延防止			○					○									
③業務継続計画 (BCP)							○		○										
② 非常災害訓練	①火災 ②洪水及び土砂災害 ③感染症及び食中毒の予防及びまん延防止 ④業務継続計画 (シミュレーション)	全体															※サービスによって必要頻度が異なる為事業所毎に実施		
安全衛生管理	① 浴場機器管理	三和荘	①循環浴ろ過装置機器点検	○			○				○		○				※R8 年度予定		
			②温水ヒーター機器点検			○						○							
			③循環浴配管洗浄				○												
			④循環浴ろ過装置オーバーホール (1回/3年毎)																
			⑤循環浴レジオネラ菌水質検査				○						○						
	② 井戸水衛生管理	三和荘	①浄水水質検査	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	○9項目、◎50項目 ○9項目、◎39+指標菌
			②原水水質検査	○			○	◎		○			○						
			③浴場レジオネラ菌水質検査 (特養)			○							○						
			④井戸水ろ過装置機器点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
			⑤井戸水ろ過装置オーバーホール (1回/7年毎)															※R7 年度予定	
③ 給排水設備管理	三和荘	①受水槽・ポンプ点検													○				
		②受水槽清掃 ③受水槽水質検査													○				
④ 電気保安管理	三和荘	①保安点検	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○保安、◎総合	
⑤ 定期清掃	三和荘	①ワックス掛け (特養)				○						○				○			
設備保守管理	① 消防設備	三和荘 出水 三和苑	①定期点検				○								◎			○機器点検 ◎総合点検	
			◎		◎								○						
	② 建築設備	三和荘 三和荘	①建築設備定期検査				○											※R7 年度予定	
			②特殊建築物定期検査 (1回/3年毎)																
	③ 防火対象物	三和荘	①防火対象物点検				○												
	④ エレベーター設備	三和荘 出水	①機器点検	○			○				○			○		◎		○保守点検 ◎法定点検	
			◎	○		○			◎		○								
	⑤ リフト設備	三和荘	①機器点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎		○保守、◎法定	
	⑥ 空調設備	三和荘	①機器点検		◎			○				◎			○			◎保守点検 ○自主点検	
⑦ 浄化槽維持管理	三和荘 三和荘	①定期点検	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○保守、◎清掃		
		②法定検査													○				
⑧ 厨房機器点検	三和荘 出水	①機器点検		◎			○				◎			○			◎保守点検 ○自主点検		
		◎	○			◎			○					◎					
⑨ 防災カーテン	三和荘 出水	①定期クリーニング													○				
															○				

